



東京部会(第 113 回)

日時:	2019 年 11 月 14 日 (木) 19:00-21:15
場所:	慶応義塾大学三田キャンパス研究棟 446 号会議室
参加者:	[順不同・敬称略] 篠原、加藤、中沖、塙、杉浦、金子、杉田、藤牧、中村、新井の10名

- 1 12月の冬休み経済教室の準備状況に関する検討が行なわれた。
- ・実施日、12月26日(木)13時00分から17時00分。会場は、慶應義塾大学三田キャンパス東館ホール。
 - ・テーマ、「変わる入試と授業の改善」。これまでネットワークが取り組んできた授業改善に焦点をあわせて、それをさらに掘り下げる教室とする。
 - ・新テスト関係者からの報告(大倉先生)、それを受けてのシンポジウムとする。進行役杉田先生、中学からの報告(大阪部会から李先生)、高校から(東京部会から杉浦、金子先生)、参加者による討議で構成する。
 - ・ちらしは11月後半に東証の12月イベント案内と同封で関東の中高に配付。中高の研究会経由での参加要請も個別に行なう。
 - ・ネットワークHPにはすでにアップされている。
- 2 参加者からの実践報告、冬の教室にむけての報告案の提示があった。
- (1) 杉浦光紀先生(都立井草高等学校)の報告案「新テストに向けての授業づくりの試み」の提示と検討が行なわれた。
- ・受験校の立場から、試行テストのスミス国富論を素材にした問題(H30「現代社会」第4問)を取り上げ、そこから新テストが求めている「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を抽出する。
 - ・それらを育てるための授業のゴールを設定して、具体的に授業をどう設定するかを提示する。
 - ・現在担当している高校2年生「倫理」での論述の授業例を提示して、授業づくりの提言を行なう、という流れの発表を予定しているという報告があった。
 - ・検討では、提起時間が20分であるので報告内容の精選が必要、生徒の書いた内容の変化が欲しい、この授業をやったら新テストに対応できるものになっているかどうかの提示が欲しい、などの意見や要望が出た。
 - ・篠原代表からは、スミスの問題は概念を知っていれば解けてしまう問題であり、「神の見えざる手」の意味を知っている受験生には読解問題、思考力の問題にはならないという指摘があった。また、高校入試でも一般常識さえ身につけていれば公民の知識が無くとも解けてしまう読解問題が出始めていて、社会科で何を教えるのかという問題が浮上しているとの指摘があった。
- (2) 藤牧朗先生(目黒学園中学・高等学校)から、テスト問題と授業に関する報告があった。
- ・藤牧先生の考査はすべて論述式で、その背景には授業は教えるものではなく、授業を通して学び方を学び、探究、議論し表現するものであるという授業観がある。
 - ・評価に関しては、すべての問題に関して、ルーブリックによる基準(内容面では三段階、表現面で二段階)がつくられており、採点はそれにしたがって行なっているとのことである。また、生徒もテスト問題のルーブリックを配付され、自己採点を行なう方式をとっている。
 - ・検討では、ルーブリックの普及度、授業の様子、採点の負担などの質問があり、藤牧先生から回答があった。
 - ・ルーブリックに関しては、京都学園大学で本年度4月から導入がされているとのこと、生徒の学ぶモチベーションや考える授業づくりとの関係で、さらに注目してゆくことになった。
- (3) 金子幹夫先生(神奈川県立三浦初声高等学校)から、冬の経済教室で提起する授業案の紹介があった。



- ・金子先生は、新テストを受験しない高校生向けの、新テストを意識した授業として、『レモンをお金にかえる法』の続編を使った体験型授業を提案するとの報告であった。
- ・具体的には、絵本をばらばらにして、それを復元させるなかで、景気変動やインフレ、景気対策を考えさせる。その際、絵本のなかの状況や大人たちの対策が教科書のどこにあるかを探させる作業をおこなうことで、教科書とリンクをさせるというねらいの授業である。
- ・検討では、ゲーム性もあり考えるきっかけとなるすぐれた授業という意見や、教科書との関連で社会保障をロールズまでもってゆくのは難しいのではという指摘があった。また、教科書の抜き書きまではできるが、それを理解できるかどうかは話題になった。さらに、このプログラム授業を受ける前と後で同じテストを実施し、その変化を比較すれば、教材の有効性が分かるのではないか、という提案があった。冬の教室での報告を期待する声が多かった。

3 その他報告があった。

- ・HPのリニューアルの状況が報告された。
- ・東京部会関係者による第1回経済学寺子屋(10月26日実施)の報告があった。
- ・3月21日実施予定の札幌での春の経済教室の概容の報告があった。今回は、金融広報委員会との共済で、日銀関係者の講演、中学は行壽浩司先生(福井県美浜町立美浜中学校教諭)の公共財ゲームの報告、高校は山崎辰也先生(北見北斗高等学校)の地域経済に関する実践の報告という柱で実施予定との報告があった。

4 今回の部会

- ・平日夜ということで参加者は多くはなかったが、実践報告3本のなかでの質疑、検討など今回も密度の濃い部会となった。

記録・文責:新井

次回の開催予定、12月26日(木)午後には冬の経済教室を開催。2020年1月30日(木)、3月13日(金)は通常の東京部会を開催予定。